

2020年7月7日

## “脱ハンコでテレワーク”を推進する「Uni-ContRact」を提供開始

日本ユニシスは、契約書照査など企業内で運用する業務ワークフローと電子署名を連携し、企業外でも電子署名がかんたんに利用できるクラウドサービス「Uni-ContRact（ユニコントラクト）」を、本日より提供開始します。

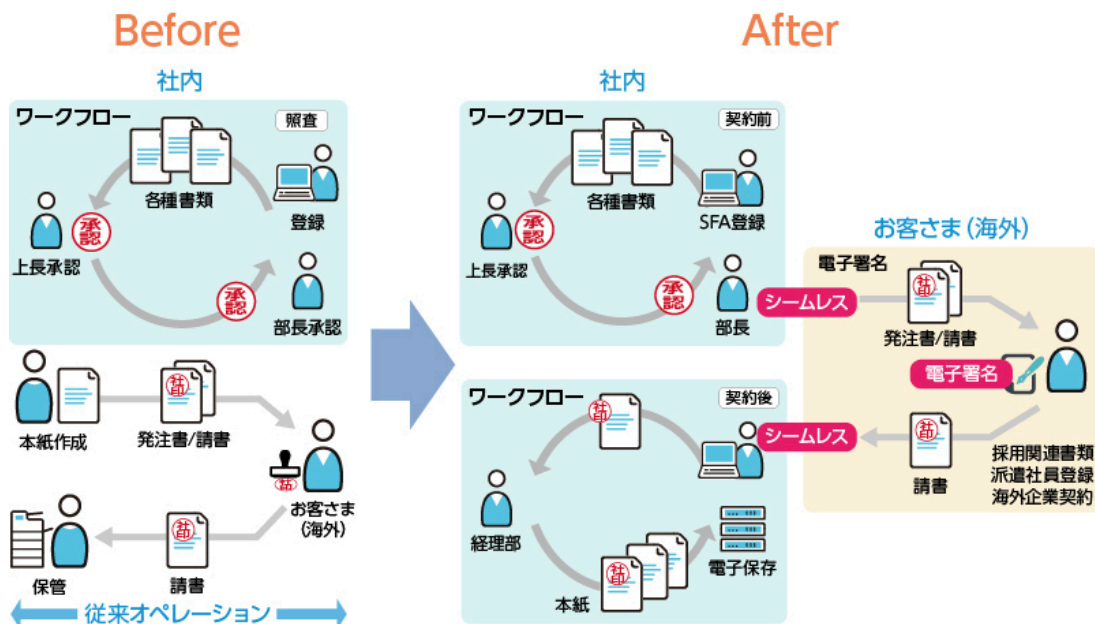
「Uni-ContRact」を利用することにより、顧客など外部企業との電子署名が、電子メールを使ってかんたんに行えるようになり、両社ともにペーパーレスでテレワークによる業務効率化を実現できるようになります。

「Uni-ContRact」は、日本ユニシスグループが提唱する働き方改革「Connected Work」の業務ソリューションと位置づけ、新しい生活様式におけるオフィス業務の効率化支援サービスとして、積極的に展開を図ってまいります。

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、テレワークやローテーション勤務など新しい生活様式へのシフトを余儀なくされるなか、オンラインで行える業務の見直しは、喫緊の経営課題となっています。その中で“ハンコのために出勤しなければならない”ことが、テレワークを推進するための大きな課題です。

日本ユニシスは、「Uni-ContRact」をクラウドサービスとして提供し、既存の業務ワークフローと電子署名による押印を連携させ、“脱ハンコ”を実現します。通常ワークフローと電子署名は個別の製品であり、連携させるには個社ごとの開発が必要となりますが、「Uni-ContRact」と連携させることにより、開発や設定作業は必要なく、顧客など外部企業との電子署名がワークフローを使ってかんたんに行えるようになり、両社ともにテレワークで業務を実行できるようになります。なお顧客など外部企業への新たなワークフロー導入や連携作業は必要ありません。

【図1:Uni-ContRact 利用前と利用後の違い】



## 【Uni-Contract 概要】

ワークフローシステムと電子署名システムの連携サービスとして「Uni-Contract」を利用することにより、社内照査／作成～顧客の捺印～契約締結といった一連の流れを、すべてオンラインで行えます。

「Uni-Contract」の連携対象となるワークフローおよび電子署名は以下のとおりです。  
連携対象となる製品・サービスは、順次拡張を予定しています。

ワークフロー	eValue NS POWER EGG
電子署名	DocuSign Agreement Cloud GMO 電子印鑑 Agree 電子契約サービス「WAN-Sign」

日本ユニシスは、業種別ソリューションから RPA や AI などの業種共通ソリューションまで、業態・業務にとらわれない数多くのソリューションを提供しており、それぞれの連携を数多く手がけています。またマルチベンダー対応の実績も多く、新しい生活様式や働き方改革における最適な業務環境構築を支援します。

以 上

### ■ 関連リンク

"脱ハンコでテレワークを推進する" 「Uni-Contract」

<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/connectedwork/cotract.html>

働き方改革サービス with ICT 「Connected Work」

<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/connectedwork/>

統合型グループウェアシステム 「eValue NS 2nd Edition」

<https://www.unisys.co.jp/solution/smb/solution/evaluate.html>

銀行・信用金庫向け業務改革・働き方改革支援 「POWER EGG」

<https://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/poweregg/index.html>

※ Uni-Contract、Connected Work は、日本ユニシスの商標または登録商標です。

※ その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)